

『国際観光立国に関する提言』概要

2005年6月21日

(社)日本経済団体連合会

国際観光立国の今日的意義

活気ある街づくり、景観形成、都市再生等を通じた魅力的な空間の形成による交流人口の拡大
草の根レベルの国際交流推進による「文化安全保障」(アジア諸国の反日感情の緩和等)
旅行業のみならず、輸送、外食、エンターテインメント・コンテンツ、農業等への幅広い経済的波及効果
地域の個性を活かした産業振興

3つの対外イメージ戦略の推進

「伝統とハイテクの国 日本」(最先端技術・伝統文化・ポップカルチャー)
「四季と食文化の国 日本」(起伏に富む自然、四季折々の風情、地域独自の食文化)
「安全・安心とてなしの国 日本」(治安の良い快適な国、ホスピタリティ)

4つの課題と10の提言

〈世界に開かれた施策の推進〉

提言1 人的交流の推進

ビザ発給手続の簡素化・透明化、出入国手続の簡素化(韓国、台湾への商用・観光ビザ免除の恒久化)

ビジネス客誘致の基盤整備を念頭においた国内投資環境の整備、企業内転勤等在留資格の範囲拡大

留学生受け入れの戦略的推進

〈魅力ある国づくりに向けたプラットフォームの構築〉

提言2 人材育成の推進

地域発の魅力開発(都市生活、食文化等)に向けた総合的プロデューサーの育成

提言3 景観形成:古都再生・都市再生

景観法に則った美しい街並み形成、魅力的で活気ある都市再生の推進に向けた自治体のイニシアティブ

提言4 基礎的インフラの整備

容量の拡大をはじめとする空港の整備
ホテルの整備・充実
医療サービス等の充実

提言5 観光統計の整備・充実

記入者負担に配慮しつつ、観光統計を統一

〈情報発信のためのツールの整備〉

提言6 多言語による情報提供の推進

ユビキタスの活用によるシステム開発に向けた省庁連携と民間支援、ユニバーサルサービスの実現
企業広告による案内表示ボード設置

提言7 世界に向けた情報発信

ビジット・ジャパン・キャンペーンの重点地域拡大、宣伝方法の高度化などを官民連携により体系的に推進

提言8 「日本発」国際会議の積極的な企画・誘致

国際社会への貢献姿勢を世界に情報発信
日中韓観光会議の定期的開催

〈コンテンツの充実〉

提言9 エンターテインメントと観光の連携

アニメ・ロボット博覧会の開催
ロケ地の活用に向けた規制緩和、窓口の一本化、アジアからの制作者誘致
ライブ・エンターテインメントの拠点づくりに向けた環境整備

提言10 国別、目的別マーケティング戦略の展開

観光客のニーズに応じたターゲットの設定、戦略の構築。
企業間の戦略的提携を想定した産業観光の推進